

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版） | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リーガル京都聖護院計画	階数	地上5F
建設地	京都市左京区聖護院山王町5番	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	150人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年9月5日
敷地面積	1,399 m ²	作成者	一級建築士事務所 株式会社東洋設計事務所 吉田 茂博
建築面積	814 m ²	確認日	2017年9月7日
延床面積	3,338 m ²	確認者	一級建築士事務所 株式会社東洋設計事務所 吉田 茂博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ☆☆☆☆

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.4

項目	スコア
Q1 室内環境	2.7
Q2 サービス性能	2.9
Q3 室外環境 (敷地内)	2.2
LR1 エネルギー	3.8
LR2 資源・マテリアル	3.1
LR3 敷地外環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内にはF☆☆☆をほぼ全面的に使用し、各住戸に光配線の導入する等快適に過ごせる室内環境を目指した	特になし
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆を使用 遮音性能について、T-2等級を採用している	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明設備の設置	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用 躯体と仕上げ材が容易に分別可能
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率 = 82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される